

費目	4月補正	6月補正	7月補正	補正後予算	主な内容
議会費				8,703	職員人件費▲0.3
総務費	55	3,800	7,991	18億6,075	星の里いせぎ販売経費55(4月) 職員人件費2,057、庁舎建設43、大学連携130、自治室くじ(井関大矢)250、地域参加型映画100、旧豊松中グラウンド126、第2定住団地25 庁舎建設7,991(7月)
民生費		-▲1,606		20億9,130	職員人件費▲2,313、ファミリーさんわ浴室等190
衛生費	1億0,003	5,804		14億0,783	病院事業会計補助 1億3(4月) 職員人件費▲435、クリーンセンター神石修繕287、阿下ホール等水源確保560、簡水会計繰出し3,992(簡易水道確保634、油木簡水整備5,450、安田水道577)
農林水産費		7,959		8億8,779	職員人件費▲1,514、サル囲い買(油木・神石)261、農業公社コバイン890、園芸施設整備880、豊松光陽の里団地1,285、トマト研修生2,000、全国共進会330、水保全林647、林業再構築PG1,642、ひろしまの森445、地籍調査▲1,264
商工費	152	-▲334		1億3,391	スコラ屋根修理132、観光協会看板20(4月) 職員人件費▲368
土木費		863		6億1,273	職員人件費104、町道維持691、公営住宅68
消防費		111		4億3,173	災害対策(端末ボックス)100
教育費		-▲2,928		6億2,330	職員人件費▲2,913、英語教育コーディネーター28、三和小学校プール91、体育館150
災害復旧費				3	
公債費				14億5,723	
諸支出金		6,408		5億1,915	財政調整基金積立6,300、保健・医療・福祉支援事業基金積立109
予備費				4,000	
合 計	1億0,210	2億0,077	7,991	1,01億5,278	

なにがどうなる

条例改正など

おもなものの

＜条例改正＞

○町企業誘致対策審議会設置条例⇒審議会委員 10 人のうち町会議員の項を削除し、6人とする。

○工事請負契約の締結

工事名 町立いずみ保育所建設工事

請負金額 298,080,000円

請負者 株式会社 後藤組

○神石高原町の役場の位置を定める条例

◎「小畠2025番地」⇒「小畠1701番地」に改める。

※現本庁舎は、耐震不足・老朽化などの課題を抱えており、これらの課題解決のため新しく庁舎を移転整備することになりました。これに伴い、事務所の位置（役場の住所）を変更する議案が提出されました。（7月臨時会）

地方自治法第4条1項に、地方公共団体は、その事務所の位置を定め又はこれを変更しようとするときは条例で定めなければならないと規定されており、また第3項に、当該地方公共団体の議会に於いて出席議員の3分の2以上の者の同意がなければならないと定められています。

過半数議決ではなく特別多数議決なので議長も出席議員となり議決に加わりました。採決の結果10対2の賛成多数となり出席議員の3分の2以上の者の同意により可決しました。

※補正予算・委託料（測量設計・地質調査・基本設計・計画支援CM業務）5,897万円

・土地購入費 2,082万円

◆財源（合併特例債）の関係で、平成31年度完成予定です。

総予算は、約18億7000万円を想定。

尚、町立病院は、平成33年春開院予定。総予算は30億円。



平成29年度予算会計別総括表

単位：万円（四捨五入）

会 計 名		H29年度			適 用
		4月補正額	6月補正	6月補正後予算	
特別会計	国民健康保険		885	12億6,265	
	内訳		885	12億5,885	財政調整基金積立684
	診療施設勘定			380	
	後期高齢者医療		380	3億7,860	一般会計繰出323
	介護保険		4680	19億0,190	
	内訳		4680	18億8,610	国庫精算返納3,612
	介護サービス事業勘定			1,580	
	簡易水道事業		6692	5億5,562	飲料水施設修繕634、油木5,450、安田580
	飲料水施設事業		241	3,861	施設修繕241
	農業集落排水事業		6	2億4,086	
	分収育林事業			10	
	総合開発事業				
特別会計計			1億2884	43億7,834	
病院事業会計		1億4243		5億4,594	（4月）用地・測量・設計・CM
特別会計＋病院事業会計		1億4243	1億2884	49億2,428	

（前ページより）
①町のPRを連続ドラマというメディアを媒体とし、町民一人一人が町民目線で町の将来を考えるとというコンセプトで実施される
100万円
②都市部の大学院というアカデミックなアイデアで町の活性化を考えるという町外目線を重視した事業（大学院生が町内に移

住）
③町有地・民有地の活用で団地造成
豊松高齢者住宅前・旧高小グ
ラウンド・和牛の里・いずみ保
育所後地
星の里周辺地・安田トマト団
地の民地
豊松25万円

1300万円

第三セクター奮戦中

平成28年度決算

平成28年度第3セクターの決算報告がありました。

(株)帝釈峡スコラのみが前年度と比べ売上高が増加しています。百彩館を除き、全て黒字決算。

さんわ182ステーション 売上明細表		単位:万円
		売上
市場	売上高	2億6,068
売店	売上高	2,134
軽食	売上高	873
自販機	売上高	451
その他	売上高	141
ローソン	売上高	1億3,667
合計		4億3,334

百彩館売上額は8250万円と前年対比1%減となった。果物など新商品の品ぞろえやナマズ販売、ネットの活用やイベントを積極的に行う事により来店客数は増加しましたが、雨天など天候不順の影響で結果的に売上額が減少しました。

今後は経費の節減による赤字の解消に努めたい。補助金収入はLED設備補助金を含め208万円。

まると市場近隣スパーとの競争激化の影響も減少傾向で、売上額は1

億8222万円と成り前年度より8%減となりましたが、荒利率が25%と高く、税引き前で194万円の利益を確保し、累積赤字は100万円まで縮小しました。

別枠で町は600万円の地代を支払っており、補助金を加えると1千万円を超える町負担となります。その解消のため町は廃止を検討しています。

廃止には、2億円の神石産農産物の販売、最前線基地としての情報発信の役割などが確保できる代替案が必要です。

農業公社トマト工房業の減作業受託、収穫・農業生産、公共施設管理収入等でカバーし175万

円の黒字。売上高は6987万円(▲2%)。補助金収入は1640万円。

スコラ各種イベント・グラウンドゴルフ等の企画、宿泊ネット販売(楽天・じゃらん)の伸び、ツーリング&ドライブ企画による集客数の増加などにより売上高は9657万円と昨年に引き続き増(2%)となった。売上の伸びと受託業務等により税引き前利益を375万円計上した。

委託料など町からの運営補助金は1839万円。今後引き続き、新規集客のため、観光協会などとの連携強化による観光ルートの拡充や、来客を売上に結び付けるための受け

皿づくり等企画力・営業力の強化に努めたい。また、施設はかなりの老朽化しており指定管理の在り様も再検討すべきだ。

天候不順、農作物の不作により来客数43万6945人(▲1%)・売上4億3334万円(▲1%)で、ともに減となった。来客層の内、約7割が福山エリアからであり、売上は昨年に引き続きローソン部門(約3%増)を除き各部門とも1~42%減少した。(自販機▲42%)

さんわ182ステーション

税引き前利益110万円の委託・補助金は約270万円。

ローソンについては、5年を経過し、経営収支は、少しずつ改善しています。が、厳しい状況は開店初年度とあまり変わり無く、累積赤字もかなりの額となっていると思われます。

地域に密着し、町内外の皆さまに大変喜んで頂いており、地域行事、作業などの弁当、飲料の予約が増加しているとの事ですが、赤字部分は他部門からの補填となりますので今後検討の余地ありではないでしょうか。

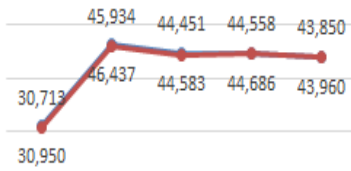
「リニューアル」は町長の公約で、コーディネートに委託し実施するとされていきました。詳細は、一般質問をご覧ください。

ローソンについては、5年を経過し、経営収支は、少しずつ改善しています。が、厳しい状況は開店初年度とあまり変わり無く、累積赤字もかなりの額となっていると思われます。

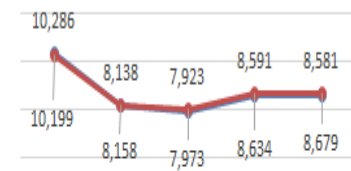
地域に密着し、町内外の皆さまに大変喜んで頂いており、地域行事、作業などの弁当、飲料の予約が増加しているとの事ですが、赤字部分は他部門からの補填となりますので今後検討の余地ありではないでしょうか。

「リニューアル」は町長の公約で、コーディネートに委託し実施するとされていきました。詳細は、一般質問をご覧ください。

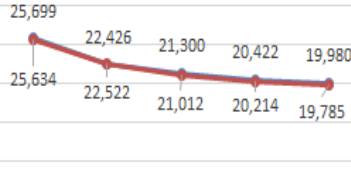
（株）さんわ182ステーション



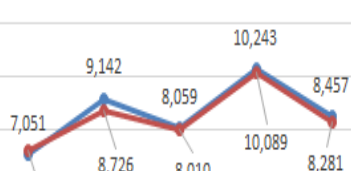
（株）油木特産販売百彩館



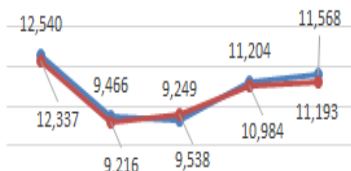
（株）直売公社 まると市場



（株）神石高原公社



（株）帝釈峡スコラ



* 表の見方 単位:万円
上段の数値:総収入
下段の数値:総費用

一般質問

「第3セクターの今後の見通しは」

3月定例会で質問に対し、町長の答弁は、「幅広いネットワークを持つ人材をさんわ182ステーションに配置し、

- ①未来に繋ぐ道の駅の店舗リニューアル
- ②まるごと市場の在り方
- ③3つの第3セクターの統合事務

といった3つの構想を外部委託する。と答弁された。

この事を踏まえ、町民、特に出荷されている農家の皆さんは、まるごと市場、182道の駅ステーション、産直市場の今後について、どうなるのだろうと非常に心配をされております。

農産物は植えつけたらすぐに出荷出来るものではなく相当の時間を要します。

将来の見通しが立たないと作業計画が立てられません。

と前置きし、以下、町長の考えを伺いました。

赤字は解消しつつある。もう少し様子を見たらどうか。

町長 廃止すれば町の支払っている地代920万円を今後には払い続ける必要がなくなる。また現在の手数料も25%以下で出荷できれば農家にとってその方が良いと思う。

②道の駅リニューアル

木野山 前提としてどう考えているのか。

町長 経営統合を前提に百彩館の在り方を考慮しながらリニューアルを考えたい。

木野山 提案されている構想を伺う。

産業課長 現在は福山と東城の中間点でワンストップエリアとしての位置付けだが、これを更に長時間滞在できる場とする。

- ・高原の風の右側に、バーベキューハウスを建てる
- ・クラフトビールの販売
- ・バイク駐車場のコミュニケーションスペースを造る
- ・階段の増設で出入り口を広げる

- ・西側の野外スペースにオーブンガーデン、フードコート
- の増設
- ・遊具を充実する

木野山 神石高原町はでっかいテーマパークと考えると、182ステーションは町の玄関口だ。町のバックエリアに客を引き込む駅だ。このコンセプトで開発すべきでは。

町長 長時間の滞在で収益も確保でき情報も収集できる。遊具の充実を先に手掛けた

い。

③第3セクターの統合

木野山 ふたつの店舗の統合にメリットはあるのか。

産業課長 各店舗からは統合のメリットは無いと報告されているが、メリットとなる統合を考えたい。

町長 色々な可能性としてメリットは出てくる。役員も統合した方が良いアイデアが出てくると考えている。



182 ステーション遊具

木野山 コーディネーターに委託した事業の内以下について現在の進捗状況と将来の見通しを伺う。

- ①まるごと市場の在り方
- ②道の駅リニューアル
- ③第3セクターの統合

町長 ②と③は4月から182ステーションで雇用した取締役員の企画部長に計画立案をお願いしている。

①経営状況や情報発信力を鑑

木野山 ①まるごと市場の在り方
まるごと市場の累積